



学校通信

青海「ひかり」

第2号

令和8年4月16日

命を守る(交通教室)

先週の10日(金)、交通指導員の水口さんをお迎えし、交通教室を実施しました。〇〇さんからは、車の死角についてのお話があり、子供たちは真剣な表情で耳を傾けていました。その後は、ビデオ視聴や交通安全クイズを通して、交通ルールについて学びました。クイズでは、大人にとっては当たり前に見えることでも、子供たちにはまだ十分に理解されていないことがあると気付かされました。たとえば、「自転車で車道を走るときはどこを走らうか」という問いに対して、①左端、②右端、③車道の中央から選ぶ問題がありましたが、当然①を選ぶだろうと思っていたところ、②を選んだ児童も少なくありません。繰り返し丁寧に伝えていくことの大切さを改めて感じました。これからも、子供たちが「自分の命を自分で守る力」をしっかりと育てていけるよう、学校として取り組んでいきます。



雨の中の「キビ植え」 感謝！感謝！です



14日(火)の3・4校時に、キビ植えを行いました。前日の天気予報では雨の心配はありませんでしたが、当日は朝からぽつぽつと雨が降り始めました。それでも、地域の皆様や保護者の皆様が朝早くから準備を進めてくださったおかげで、4～6年生は無事にキビを植えることができました。近年、子供たちが土に触れる機会は減っていますが、このような体験活動はとても貴重です。私自身もキビ植えは初めてで、これからどのように育てていくのか楽しみにしています。準備やご協力をいただいた保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

気づいて動く

就任式・始業式が終わってからの出来事です。教頭先生の「閉式」の後、6年生や5年生の子供たちが、一斉に椅子等の片付けを始めました。先生が一言も指示をしていないにもかかわらず、自分たちで気づき行動してくれたのです。また、大掃除や入学式の準備の際にも、丁寧に床をぞうきんがけしたり、プランターを運んだりと感心する姿がたくさん見られました。どの場面でも上級生(4～6年)としての自覚をもち、進んで動く姿が頼もしく感じられました。